

都市再生整備計画 事後評価シート  
中津市中心市街地地区

平成27年 3月

大分県中津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	中津市	地区名	中津市中心市街地地区			面積	250ha			
交付期間	平成22年度～25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	1640.0百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路事業(中殷大塚線他2路線)、公園事業(中津城他2カ所)、地域生活基盤施設(中津城お囲い山整備事業他)、高質空間形成施設(丸山町公園地線他6路線、南部小学校白壁施設他)									
	提案事業		地域創造支援施設:福澤記念館改修事業、景観形成補助金事業ほか まちづくり活動推進事業:まちづくり活動支援事業 事業活用調査:事業効果分析に関する調査									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業		公園事業(中津城公園)、高質空間形成施設(枝町寺町線、歴史民俗資料館白壁施設)		地権者との協議がまとまらず、計画より削除施設の改修を先行するため、次期計画に移行		指標3「主要観光施設の入場者数」等に影響するが、数値目標は据え置く。					
	提案事業		なし									
新たに追加した事業		基幹事業		道路事業(丸山町大江神社西通り線)、高質空間形成施設(新魚町線他3路線、中津駅北口駅前広場改修整備事業他)、既存建造物活用事業(南部まちなみ交流館整備事業)		交流の促進、回遊性の向上のための事業を追加当初事業の効果を高めるために追加		指標1「生活環境満足度」指標2「歩行者通行量」指標3「主要観光施設の入場者数」指標4「道路環境満足度」に影響するが、数値目標は据え置く。				
提案事業		地域創造支援事業:中津城下周遊ルート整備事業、城下町なかつ観光PR事業 事業活用調査:中津駅北口景観形成検討調査、文化財保全活用調査		交流の促進、回遊性の向上のための事業を追加当初事業の効果を高めるために追加		指標1「生活環境満足度」指標2「歩行者通行量」指標3「主要観光施設の入場者数」指標4「道路環境満足度」に影響するが、数値目標は据え置く。						
交付期間の変更		当初	平成22年度～26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
		変更	平成22年度～25年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	生活環境の満足度	ポイント	3.5	H21	3.8	H26		3.8	○	あり なし	—
	指標2	歩行者通行量	人/日	1,268	H21	1,330	H26		1,155	△	あり なし	—
	指標3	主要観光施設の入場者数	人/年	59,500	H20	60,000	H26		111,039	○	あり なし	—
	指標4	道路環境満足度	ポイント	2.5	H21	3.0	H26		4.0	○	あり なし	—
指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	ボランティアガイドの案内件数	回/年	92	H21		978			歴史が感じられるまちなみや史跡、施設などの整備とこれらをつなぐ観光回遊ルートの整備により、城下町エリアの観光スポットを巡る来訪者が増加している。	—	
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	城下町という歴史的背景をベースに中津城周辺及び観光回遊ルートを巡る「城下町ウォーキング」「まちなみ歴史探検」などが数多く企画されるようになった。中津城や城下町の風情が残る景観形成重点地区周辺で「親世能」「まちなみスケッチ大会」などの新しいイベントが実施されるようになったほか、既存のイベントが拡大・リニューアルされるなど地域活動が活性化していく傾向がみられる。まちなかを地図を片手に散策している人や家族・グループが増えてきており、城下町の風情を感じさせるまちづくり(景観形成)の効果が現れている。城下町のまちなみの保全が契機となり、中津市景観計画が策定され、市民全体に景観に対する意識とまちに対する愛着が一段と高まっている。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	諸町景観まちづくり協議会、豊後街道景観まちづくり協議会 NPO法人中津まちなみ会		都市再生整備計画に記載し、実施できた			(まちづくり協議会)中心市街地再活性化計画の推進母体としての活動を継続していく。						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● (中津まちなみ会)引き続き、地域の良好な景観形成推進のため、意見交換を実施していく。						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	地域活動の拠点、来訪者の憩いの場として整備をされた交流施設を指定管理により、地域住民を中心とした組織で自主運営する		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 引き続き、地域活性化のモデルとして協議会の活動を支援していく。						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

### 中津市中心市街地地区(大分県中津市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
大目標「安全で快適なくらしの中に歴史的な情緒や魅力を感じるまちづくり」 目標1. 安全でゆとりある暮らしの実現 目標2. 来訪者に対するおもてなし環境の向上 目標3. 歴史的な風情を感じながら生活や散策ができる地域の形成	生活環境の満足度	単位:ポイント	3.5 H21	3.8	H26	3.8
	歩行者通行量	単位:人/日	1,268 H21	1,330	H26	1,155
	主要観光施設の入場者数	単位:人/年	59,500 H20	60,000	H26	111,039
	道路環境満足度	単位:ポイント	2.5 H21	3.0	H26	4.0



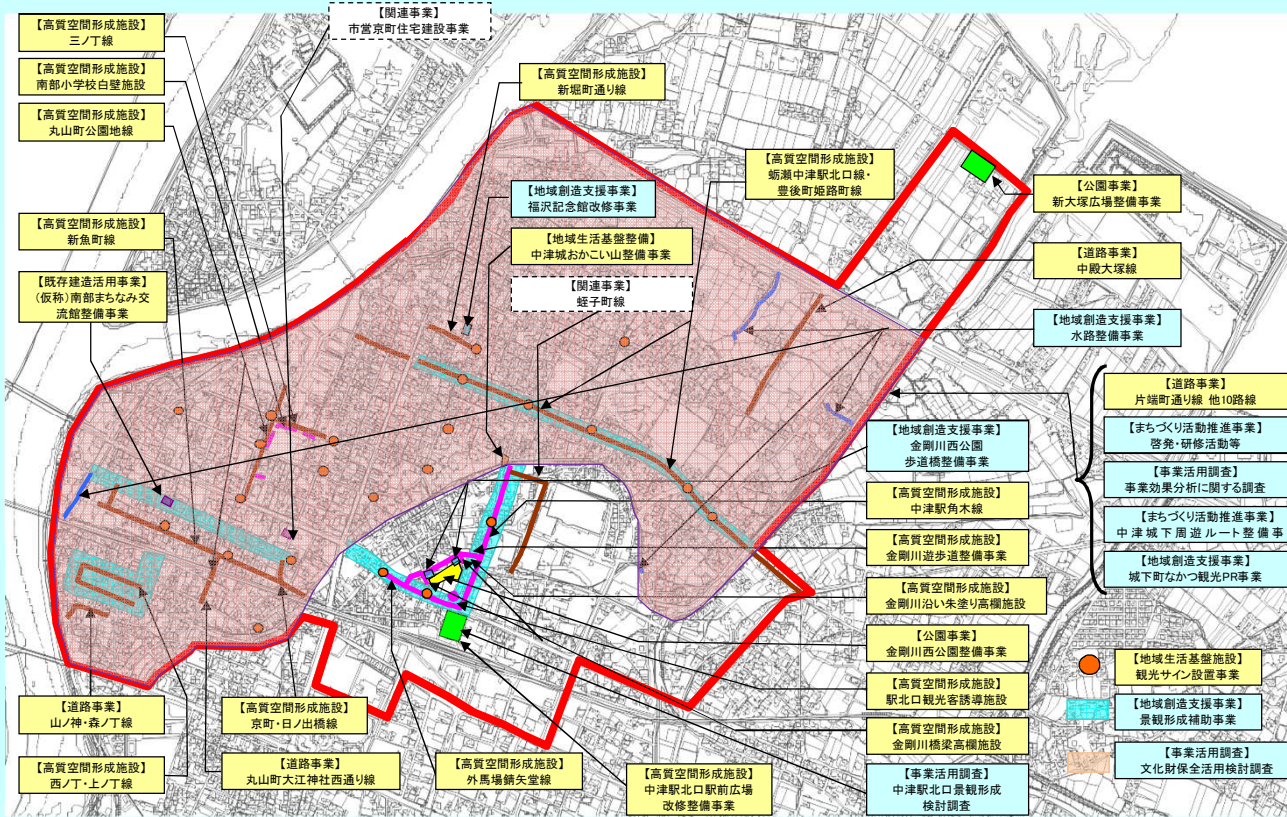
蛸瀬中津駅北口線・豊後町姫路線



中津城お囲い山(土塁)の整備



南部小学校の白壁設置



駅北口観光案内板の整備



南部まちなみ交流館の整備



まちなみ歴史探検の実施

まちの課題の変化	<p>中心市街地エリア内の観光・歴史・文化施設への回遊性を高めるため、引き続き、道路のバリアフリー化・高質化整備を進めていく必要がある。整備から相当年数が経過している公園、歴史民俗資料館、体育館などの既存公共施設は、都市機能の拡散防止のためにもエリア内での計画的な建替が必要となっている。歴史的資源の保全や周辺の景観形成は図られたが、城下町エリアでは、依然として町屋の空家、空店舗が多く、これらの伝統的な建築物の保全・利活用による賑わいの創出が求められる。市民には、歴史ある「まちなか」に居住することへの誇り、来訪者には、まちなかを歩くことの楽しさを実感してもらうため、観光・レクリエーションの振興を図る必要がある。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>観光地としての魅力を向上させるための観光回遊ルートの確立及び沿道景観整備や公共施設等の景観に配慮した整備            来訪者に対する観光案内機能およびおもてなし施設の充実            観光地・歴史のまちとして情報発信できるソフト事業の展開            都市機能の拡散防止のため、老朽化した公共施設等の更新を中心市街地内で再配置・集約            都市機能が集約し利便性の高い地域への居住人口の促進            歴史的な街なみの保全とひと・ものが集まるまちの再生</p>